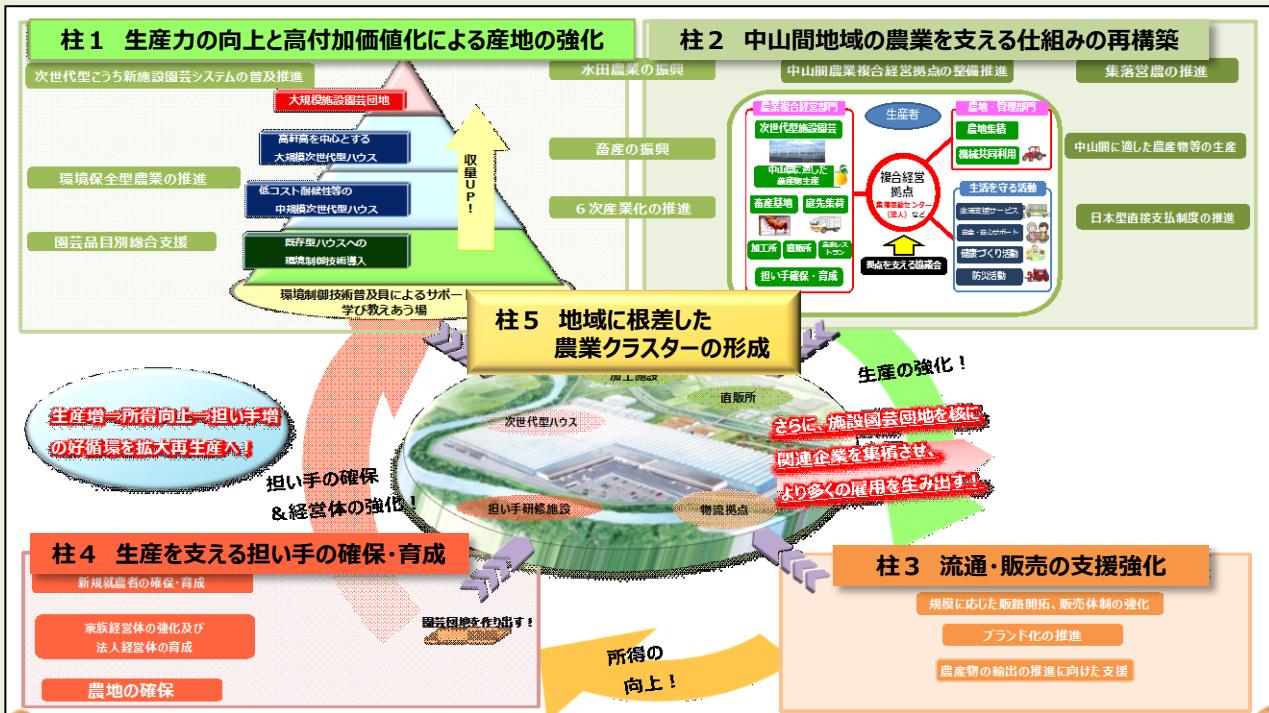


# 農業・農村を支える基盤整備事業の推進

## 1. 農を強くする（地域で暮らし稼げる農業の展開）

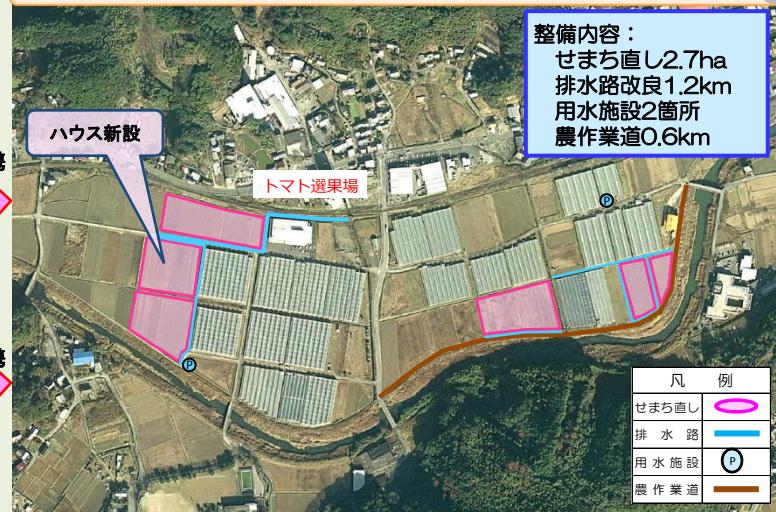


## (2) 農業クラスターの形成

本郷地区（日高村）H28～H29 農地耕作条件改善事業

- 集出荷場の機能強化**
- JAコスモトマト選果場**
  - 生産の拡大に伴う集出荷能力拡大等
    - ・新たな選果ラインの導入
    - ・予冷庫の拡張
    - ・多様な人材の雇用創出
- トマト加工業の拡大**
- 日高わのわ会**
  - 出荷規格外のトマト等を活用したトマト加工品や業務用一次加工の生産販売の拡大により、一層の所得向上や多様な人材の雇用創出につなげる。
  - 就労訓練等の支援等

日高村農業クラスタープラン（日高村トマト生産団地）



※写真は水土地理情報オルソ画像

## 2. 農村を守る（南海トラフ地震対策等の防災・減災対策の加速化）

ため池

ため池は農業用水を確保する貴重な水源である一方で、南海トラフ地震や集中豪雨等の発生により、決壊すれば下流域の人家や公共施設等に被害を及ぼす恐れがある施設でもある。  
**ため池の耐震化や老朽対策の早急な実施が必要。**

**地震** 突発的な自然災害によるため池の決壊リスク  
**集中豪雨**



※「防災上特に重要なため池」万が一決壊した場合に下流域の人家や公共施設等に大きな被害を及ぼす恐れのあるため池

対策

- 県内の全ため池：397池  
うち防災上特に重要なため池：121池
  - 耐震診断の結果  
**21池の耐震化が必要**（整備目標：H32）
- （H28年度末：2池完了）

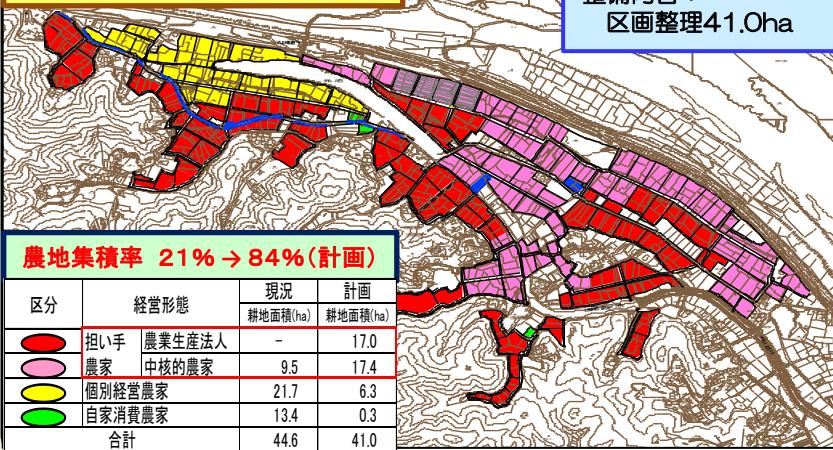
【今後必要な事業費：26億円】



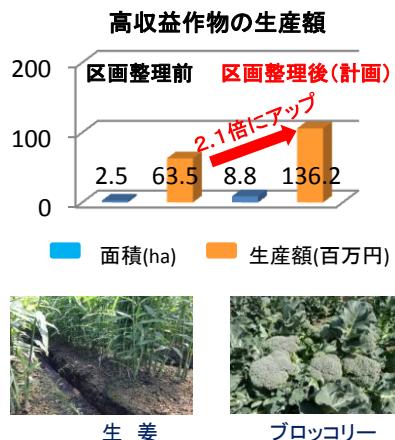
## (1) 優良農地の確保

入田地区（四万十市）H25～H30 農業競争力強化基盤整備事業

### ①担い手への農地集積・集約化



### ②高収益作物への転換



## 提言①

### 農業競争力を強化するための基盤整備予算の確保

担い手への農地集積・集約化や高収益作物への転換等により農業の体質を強化し、地域で暮らし稼げる農業を展開するための「**農業競争力強化基盤整備事業**」や「**農地耕作条件改善事業**」等の基盤整備予算の確保

## 提言②

### 農村地域の防災・減災対策を加速化するための予算の確保

南海トラフ地震対策として実施するため池の耐震整備や、老朽ため池の改修など、農村地域の防災・減災対策を加速化するための「**農村地域防災減災事業**」の予算確保